



秋田北鷹高の生徒が育てた苗が並んだ販売会

育てた野菜苗を販売

北鷹 生徒が接客、住民に好評

北秋田市の秋田北鷹高校で、恒例行事で、住民ら約200人、生徒が授業で育てた野菜苗の販売会が行われた。前

身の鷹巣農林高時代から続く販売会は、野菜などの作物

を育てる「総合実習」の授業の一環。栽培方法を学ぶ生物資源科の生徒8人が中心となり、2、3月に種をまいて校内のビニールハウスで苗に育てた。

この日はナスやピーマン、カボチャ、パプリカなど14種類の約4千本を用意。1本80

生徒が作成したポップも並んだ



〜150円と市価より手頃な価格とし、野菜のイラストが入った手作りのポップを設けて接客した。

生徒たちは「心を込めて育てました」「この苗は元気に育っています」などと説明。苗が並ぶハウス内にも来場者を案内してアピールした。

生物資源科3年の柏木馨介さん(18)は「自分たちが頑張って育てた苗を喜んで買って

もらえてよかった。地域の家庭菜園づくりに「役立つことができればうれしい」と話した。
ナスやミニトマトの苗を購入した大館市の女性(62)は「高校生の対応が良く、楽しく買い物できた。おいしい実がなるように育てたい」と語った。(石塚佳治)